

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	グランファールレ伏見アクアスプリングス	階数	地上13F、地下1階
建設地	北海道札幌市中央区南17条西15丁目17番	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域、45m高	平均居住人員	300人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年2月 予定	評価の実施日	2015年9月4日
敷地面積	2,480 m ²	作成者	高井 守治
建築面積	1,032 m ²	確認日	2015年9月4日
延床面積	9,912 m ²	確認者	佐々木 裕一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項

総合		
<p>延長の長い市電通り沿いは可能な限りセットバックさせ、リズムカルな植栽と舗装で構成し、景観向上に努めた。また、サービスヤードは機器類の見えない高さの塀で囲い、景観に配慮している。</p>		
<h4>A 省エネルギー</h4> <p>窓・外壁に断熱性の高い部材を採用している。熱交換型ロスナイ換気扇を採用し、熱のロスを抑えている。潜熱回収型の給湯器を採用している。</p>	<h4>B 省資源等</h4> <p>分別保管の可能なシャッター付24時間ゴミ庫を設置している。節湯・節水型の水栓を採用している。</p>	<h4>C 緑化</h4> <p>緑化基準はもとより、積極的に緑化を施している。</p>
<h4>D 雪処理</h4> <p>ロードヒーティングを取り入れて、敷地外へ雪を出さない様に配慮している。</p>		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される